

2022(令和4)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	教育委員会事務局
役 職	事務局長
氏 名	滝川 博美
連絡先	22-9644(内線2510)



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 5-1-①5-2-②	〈現在の状態〉 幼稚園、小中学校、地域の連携による人権学習を推進している。R3年度小中学校における差別事象31件、社会における事象17件 ↓ 〈達成目標〉 ・学校(園)教職員、行政職員の人権に関する意識が向上し、主体的に人権啓発、教育を進めることで学校や社会での差別事象が減少する。 ※目標が達成した状態 ・教育活動を通して人権尊重の精神と豊かな感性を養い、あらゆる差別を許さない実践行動ができる人材が育成されている。	・教育的不利な環境に置かれている児童生徒の学習の機会(地区学習会等)を確保する。 ・人権教育講演会、学習会を開催する。
人権同和教育の推進	命の大切さを知り、あらゆる差別を許さない実践行動ができる人材(リーダー)の育成		
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 5-3-①	〈現在の状態〉 ・各学校で「学校マニフェスト」を作成し、経営方針や教育内容を公表し学校評価を実施している。 ・英語指導助手の招へいによる英語教育の充実に取り組んでいる。 令和3年度英語検定3級以上を取得している中学校3年生の割合(38.5%) ↓ 〈達成目標〉 ・市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合(90%) ・英語検定3級以上を取得している中学校3年生の割合(40%) ※目標が達成した状態 ・地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール)の体制が構築され充実した活動がされている。 ・児童生徒の英語でのコミュニケーション能力が高まるとともにシビックプライドが醸成される。	・学校運営協議会の運営により保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、また学校支援地域本部事業を推進し、双方の連携が進むよう協議会の支援や助言を行う。 ・児童生徒に英語に親しむ機会を与え外国の文化や生活習慣に接することを通して国際理解を深める。 ・郷土教育教材「伊賀のこと」を積極的に活用する。
子どもたちが未来に夢や希望を持てる学校教育の推進	地域とともにある学校づくり(マニフェストの推進)とグローバル人材の育成		

達成状況(自己評価)	理由
3	・R4年度の小中学校での差別事象は25件、社会における事象は13件で昨年度同時期と比較し減少している。伊賀市学校人権・同和教育研究部会を中心に研究を推進した。 ・地域に根差した人権教育・啓発学習交流会(7回)を開催し人材育成に努めた。
3	・各学校で「学校マニフェスト」を作成し経営方針や教育内容を公表をした。学校運営協議会委員を対象とした研修を開催するなど学校運営への参画を促す機会を設けた。市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合(90.6%) ・英語指導助手を招聘し学習に取り組んでいる。中学校3年生の英語検定3級以上の取得者は37.1%であった。 ・郷土教材資料「伊賀のこと」「デジタルミュージアム」を活用している。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3	関連の施策・基本事業No 5-3-②	〈現在の状態〉 ・児童生徒一人ひとりのニーズに応じた「指導計画」や「教育支援計画」を策定している。 ・外国人児童生徒の就学促進を図るため就学相談、初期適応指導を実施している。 ↓ 〈達成目標〉 ・個別の支援計画・指導計画に基づき指導ができた達成度(100%) ・外国人生徒高校進学率が日本人生徒進学率と同じになる(99.6%) ※目標が達成した状態 ・特別支援教育についての正しい知識や指導の充実、教員の資質向上。 ・個別ニーズに合った教育の実施。 ・個性を伸ばす支援が行われ、優れた才能が生かされる。	・教育支援員、特別教育支援員を配置し、児童生徒のニーズに合った支援体制をつくる。 ・各学校の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修を充実させ、特別な支援を必要としている児童生徒への支援を推進する。 ・教科型日本語指導(JSLカリキュラム)を活用したわかりやすい授業づくりを進めるとともに、「特別の教育課程」による日本語指導を行う。	▶ 3	・教育支援員、特別教育支援員、特別支援教育コーディネーターを配置し、児童生徒のニーズに合った支援体制を推進し個別の支援計画、指導計画に基づいた指導ができた。(達成度100%) ・特別支援教育コーディネーターを対象とした研修を行い児童生徒への支援を推進している。 ・教科型日本語指導(JSLカリキュラム)を活用し子どもが理解できる授業づくりを進めた。(外国人生徒高校進学率94.9%、日本人生徒高校進学率98.8%)
◎部局目標4	関連の施策・基本事業No 5-4-①	〈現在の状態〉 R5年度からの上野南部地区小学校(依那古、神戸、比自岐)統合の合意が得られ校名、校章、校歌が決定している。 ↓ 〈達成目標〉 ・通学バスルートの決定、施設整備が終了しR5年4月から開校する。 ※目標が達成した状態 学習や生活の場としてよりふさわしい教育環境が提供できる。	・上野南部地区小学校区実施計画検討協議会の開催により通学バスのルートや施設の整備など円滑に協議が行えるよう丁寧な提案、説明を行う。	▶ 3	・上野南部地区小学校区実施計画検討協議会を2回開催し、保護者の意見を反映した通学バスルートの決定、新一年生を含めた試走を行った。校歌のメロディも決定した。 ・施設整備については10月末で完了し、R5年4月の開校に向けた準備が整った。
◎部局目標5	関連の施策・基本事業No 5-4-②	〈現在の状態〉 ・すべての学校で「食に関する指導の全体計画」を作成し、学校教育活動全体で食育の推進を行っている。 ↓ 〈達成目標〉 ・学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース65%) ・学校給食無償化についてのR5年度からの実施に向けて検討する。 ※目標が達成した状態 地場産物を使った安全安心な給食を提供し、学校給食を通じて食育が推進され地域の自然や文化への理解が深まっている。	・JAなど物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら、地場産物を積極的に使用する。	▶ 3	・地場産物を積極的に使用するよう食材の確保に努めた。(金額ベース70.2%) ・R5年度からの学校給食の無償化について小中学校とも実施する方針を決定した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標6	関連の施策・基本事業No 5-4-②	〈現在の状態〉 ・学校施設長寿命化計画が策定されている。 ↓ 〈達成目標〉 ・計画に基づき整備が行われる。令和4年度実施計画の進捗率(100%) ※目標が達成した状態 子どもたちが安心して学べる環境になる。	・学校施設長寿命化計画に基づき求められる性能や不具合箇所の緊急度に留意維持・修繕を行う。	▶ 3	・国の交付金によりR4年度の実施計画以上の進捗が図れている。 ・事業前倒しにより学校施設長寿命化計画の見直しに着手している。
◎部局目標7	関連の施策・基本事業No 5-5-①	〈現在の状態〉 ・地区公民館、地区公民館分館を廃止し新たに中央公民館(生涯学習センター)に社会教育指導員を、各住民自治協議会(地区市民センター等)単位に生涯学習支援員を配置した。 ↓ 〈達成目標〉 ・生涯学習支援員や社会教育指導員の支援により地域の課題を踏まえた生涯学習活動が行われる。 ※目標が達成した状態 地域の特色を生かした自主自立した生涯学習活動が展開される。	・生涯学習支援員や社会教育指導員の研修を行い各地区住民自治協議会が掲げるまちづくり計画に応じ、地域としっかりと情報共有、連携を図り事業計画、運営、実施等の支援を行う。 ・健康福祉部、地域連携部をはじめ関連する部署との連携を図る。	▶ 3	・毎月研修会を行うことにより支援員や指導員の活動が充実しつつあり、地域との連携が図れた生涯学習活動の推進が図れている。
◎部局目標8	関連の施策・基本事業No 5-5-②	〈現在の状態〉 ・にぎわい忍者回廊整備事業の事業者を募集し、優先交渉権者を決定するための準備を行っている。 ↓ 〈達成目標〉 ・PFI事業者が決定し新図書館整備が進む。 ※目標が達成した状態 市民が学べ、憩いの場となり、市民に親しまれる図書館が運営される。	・関係各課との連携を図る。 ・事業者との情報共有を行う。	▶ 3	・PFI事業者との契約が整い、事業者、関係各課との会議を開催し情報共有や進捗状況の確認を行っている。 ・年度内に図書館ワークショップを3回開催し市民への情報共有の場を設けた。
◎部局目標9	関連の施策・基本事業No 6-4①②	〈現在の状態〉 ・文化財の保存と活用に関する計画の素案を策定している。 ↓ 〈達成目標〉 ・計画(案)が策定されパブリックコメントを実施する。 ※目標が達成した状態 文化財の保存・管理・活用がされ、まちづくりに活かされる。	・庁内会議や策定協議会での協議を重ねる。	▶ 3	・庁内会議、協議会をそれぞれ2回開催し伊賀市文化財保存活用地域計画(案)が完成し12月にパブリックコメントを実施した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標10	関連の施策・基本事業No 6-4①②	〈現在の状態〉 文化財所有者や国・県と協議検討を重ねて事業を進めている。 ↓ 〈達成目標〉 ・保存修理事業等が計画通りに進捗し、観音提寺の防災設備整備事業が完了する。 ※目標が達成した状態 保存修理や防災設備整備等の事業が完了または計画通りに進み文化財への理解や保護する心を育て未来へと引き継ぐことが出来る。	・文化財所有者や国・県と協議検討を重ねるとともに、専門家の意見を聴取しながら適切に事業を進める。	▶ 3	・観音提寺の防災設備整備事業を始め天神祭りのだんじり幕の修理、春日神社拝殿の修復など専門家の意見を聴取しながら計画通りに進めた。
◎部局目標11	関連の施策・基本事業No 5-3-①	〈現在の状態〉 ・学校事務の効率化、働き方改革を積極的に進める必要がある。 ↓ 〈達成目標〉 ・学校支援システムの導入の検討を行う。 ※目標が達成した状態 ・教職員の働き方改革が進み、業務改善が行われ充実した学校教育の推進が図られる。	・学校支援システムの導入についてすでに導入している自治体からの情報を収集する。	▶ 3	・学校支援システムの導入についてDXアドバイザーの意見も伺いながら、スケジュールを検討し、まずはパソコンの更新を行うことから段階的に進めることとした。
◎部局目標12	関連の施策・基本事業No 5-4-②	〈現在の状態〉 ・R5年度からの大山田給食センターの統合が決定している。 ・いがっこ給食センター夢の老朽化が進んでいる。 ↓ 〈達成目標〉 ・R5年4月から大山田給食センター分を統合先の給食センターで開始する ・いがっこ給食センター夢の将来的な運営方法について検討を開始する。 ※目標が達成した状態 ・安心安全な給食の提供と食育の推進が図れる。	・設備の状況把握、将来的な児童生徒数の把握を行い、より効率的で効果的な運営方法について検討する。	▶ 3	・大山田給食センター分を給食センター元気に統合することについて事業者との協議が整い、予算、契約変更等必要な手続きを行った。R5年4月から運用を開始する。 ・給食センター夢の運営、設備等について設備の更新計画(案)、「PPP・PFI 専門家派遣制度の活用」について検討を進めている。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標13	関連の施策・基本事業No. 5-3-①	〈現在の状態〉 - 資料の収集や整理について保存場所が散らばり、管理体制が整っていない。 ↓ 〈達成目標〉 - 資料等の保存・整理・管理体制についての検討を行なう。 ※目標が達成した状態 文化財への理解や保護する心を育て、未来へと引き継ぐことが出来る。	保管方法、場所等適切な方法について検討する。	3	資料等の保存、管理について検討し、歴史資料は旧長田小学校校舎へ移転し整理を進めた。埋蔵文化財は緑ヶ丘整理所の整理に着手した。